



こうみ



こんなことが決まりました ②
一般質問

常任委員会からの要望

編集後記

児童館パママカンガルー広場
「ママとフラワーアレンジメント」

きかせて あなたたちの夢

あなたたちの未来に寄り添うまちに

こんなことが決まりました

平成27年度一般会計で大洗町交流事業費等を増額補正

27年度 一般会計補正予算(第1号) 全員賛成で可決

1,953万円の追加補正 総額 36億 153万円

【歳出の主なもの】

- 臨時福祉給付金事業の新規計上 868万円
- 旧北牧小学校グラウンドトイレ改修事業の新規計上 1,660万円
- 大洗町交流事業(熟年野球)の新規計上 70万円

【財源の主なもの】

- 地方交付税 2,978万円
- 財産収入 350万円

27年度 一般会計補正予算(第2号) 全員賛成で可決

133万円の追加補正 総額 36億 266万円

【歳出の主なもの】

- 大洗町交流事業(小学生体験学習)の追加 167万円

【財源の主なもの】

- 国庫支出金 167万円

26年度 一般会計補正予算(第7号) 全員賛成で承認

1億 408万円を追加補正 総額 41億 2,784万円

【歳出の主なもの】

- 26年度事業の精算
- 予備費の追加 1億7,615万円

【財源の主なもの】

- 地方交付税 9,944万円
- 使用料及び手数料 249万円

27年度 特別会計補正予算 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計 52万円追加補正 総額 6億3,362万円

26年度 特別会計補正予算 全員賛成で承認

国民健康保険事業特別会計 1,142万円追加補正 総額 5億7,313万円

介護保険事業特別会計 1,271万円減額補正 総額 6億1,295万円

後期高齢者医療特別会計 83万円減額補正 総額 6,811万円

農業集落排水特別会計 56万円減額補正 総額 5,006万円

平成27年小海町議会第2回定例会が6月4日から17日まで14日間の会期で開催されました。財産取得1件、条例改正報告1件、条例改正案4件、補正予算報告5件、補正予算案3件、陳情5件の合計19件で審議が行われ、全ての案件が承認・可決・採択されました。一般質問では、7名の議員により行われ、町の考えをたえました。

6月議会 第2回定例会で

橋梁修繕事業費の工事費の変更が可決される

当初予算で町内の4橋梁の修繕事業が行なわれる予定でしたが、国からの事業費が減額となったため、工事費を組み替えて行なわれることになりました。

こんな委員会質疑がありました

議員

今回の橋梁修繕事業の工事費を組み替えた経過は。

町

国からの事業費が当初の見込みの65%しか付きませんでした。また、五箇地籍の梨の木沢橋の損傷が激しく、これからの季節、川の増水により危険なため、事業費を増額し、箕輪橋、滝下橋の事業費を減額しました。28年度に国に要望します。

議員

梨の木沢橋の修繕工事は、入札が行われたと報告されたが。

町

事業の入札は終了し、既に工事が始まっています。既に工事が完了し、緊急性があり入札を行いました。

議員

本来、議会で予算が決定した後に入札し、事業を始めるべきでは。

町

緊急性があり、工事を実施しました。今後は、事前に議会との協議を行うようにします。

財産取得

◆学習館図書館、資料室の書架、展示ケース他備品を指名競争入札の結果、小海家具センターより1,919万2千円で取得したものです。

全員賛成で可決

条例改正

◆地方税法の改正に伴い、町税の減免申請期限の延長、住宅ローン減税の延長、ふるさと納税の特例控除額の拡充、旧

3級品のたばこ（しんせい・わかば他）の特例税率の縮減、廃止など、所要の改正をしたものです。

全員賛成で承認

◆小海町消防団員の定数を18人から3人増やし、185人とするものです。

全員賛成で可決

◆消防団員に対する損害補償に係る介護補償の額を増額するものです。

全員賛成で可決

◆国民健康保険運営協議会の答申に基づき、平成27年度国保税の税率の増額改定、税の軽減対象世帯の拡充などについて改正を行うものです。

賛成多数で可決

(内容については4Pをご覧ください)

◆低所得者の介護保険料の軽減強化のため、第1段階の被保険者の保険料の減額改定、減免申請期限の延長について改正を行うものです。

全員賛成で可決

請願・陳情等

● 農協改革をはじめとした「農業改革」に関する陳情について
陳情者
長野県単位農協労働組合連合会
執行委員長 赤羽清吉

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣に意見書を提出しました。

● 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情書について
陳情者
長野県教職員組合小海単組
単組長 櫻井 勝

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣に意見書を提出しました。

● 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情書について
陳情者
長野県教職員組合小海単組
単組長 櫻井 勝

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣に意見書を提出しました。

● TPPに関する国会決議の実現を求める陳情書について
陳情者
長野八ヶ岳農業協同組合
代表理事組合長 由井和行

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣、内閣官房長官に意見書を提出しました。

● 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める要請書について
陳情者
日本労働組合総連合会
長野県連合会
会長 中山千弘

日本労働組合総連合会
長野県連合会
佐久地域協議会 議長 依田孝彦

全員賛成で採択し、衆参両院議長、関係大臣に意見書を提出しました。



第2回定例会の審議中賛成多数で可決された議案

(○は賛成 ×は反対)

(議案名等)	(議員氏名)	有坂辰六	篠原伸男	篠原義従	篠原憲雄	新津孝徳	鷹野弥洲年	篠原恒一	的楚美香子	井出 薫	土橋勝一	佐藤二三雄	鷹野雄之助
小海町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長職

問

1 町の特産品にキウイフルーツ栽培の取り組みを 2 農業実習生の受け入れ状況について

答

町長 1 適地、適作を判断、調査、研究をして参ります
産業建設課長 2 受け入れは町内28軒61名(中国59名、フィリピン2名)です



篠原 憲雄議員

問 農地荒廃対策（経営所得安定対策）として、現在、豆、そば等の作付けを進めていますが、行き詰まり感があり、何らかの特産品の栽培をすべきではないか。

そこで栽培特徴として栽培しやすい、消毒をあまり必要としない、空き地利用、用途食用、販売、加工用ジャム、出荷まで3年から4年、遅霜対策が必要であるが、現在、本間川において何人か栽培収穫済みであり、キウイフルーツを町の特産品として取り組みを提案したいが、考えはどの様ですか。

町長 小海町には特別にこれといった果物の特産品がないのが現状です。過去にはりんご栽培等ございましたが、遅霜、雹、こういった被害に見舞われ現在、栽培されていませんが、本格的な出荷果物として苺が栽培されています。一部ブルーベリーやブルーベリーあるいは、ぶどう、さくらんぼが栽培され、主に自家用として栽培している皆さんが多いです。その様な中、地球温暖化によりこの地でもいづれ栽培可能になるのではないかと思います。

ご提案のありました件、農

産業建設課長 JA他からの聞き取り状況では、小海町全体で28軒61名の受け入れです。国籍は、中国59名、フィリピン2名、地区別は、3地区に分けて稲子、松原、八那池、鎰掛に15軒32名、杉尾、五箇溝の原、本間川に6軒12名、親沢、川平、小海原、土村に7軒17名です。

川上村で傷害事件等発生した訳ですが、小海町では、特に新聞報



本間川地区で栽培されているキウイフルーツ

業改良普及センターあるいは隣の佐久穂町では多くの果物が栽培されていますので、そういったところを参考に担当課で適地、適作を判断しながら将来の特産化に向け調査、研究をして参ります。

問 他町村でフィリピン農業実習生同士による傷害事件が発生した訳ですが、実習生の受け入れ状況、国籍、地区別状況はどの様ですか。

道とか、大きな傷害事件等は発生しておりません。

篠原議員 農業実習生にとつては、異国での労働作業、精神的な問題等さまざまなストレスを抱えている事と思いますが、町の基幹産業であります高原野菜は、外国人労働者の戦力なし成り立たない訳でありますので、農協と連携してトラブルのない様指導して頂きます事をお願いします。

問 小海町の地方創生総合戦略は

答 町長 幅広く町民の皆様、団体の皆様からの意見をお聞きし、計画に反映させて頂ります



篠原 義從議員

問 新聞アンケートの質問に、町長は人口減少問題はあまり危惧していないとお答えでしたが真意を町民の皆様に分かりやすく答弁していただきたいと思ひます。

町長 お答え申し上げます。当然人口減少ということにつきましても、非常に危機感を持っています。どんな小さな町、村であってもそこに住んでいる皆さんが住んでいて良かった、あるいは、これからは住み続けたい。こういった温かい町づくりを行政とみなさんの力で実現して参ります。

人口減少、イコール町の消滅ではありませんよというのが私の考え方ですので、よろしくお願ひ致します。

問 国では地方創生国家戦略を打ち出しました。地方を元気にする事業のようです。良いアイデアを出し努力した市町村には国も手厚くサポートして行くようですが、小海町の地方創生事業への取り組みは今後どう進めるのか。

町長 長期振興計画をベースに長期振興計画審議会の皆さん、多くの町民の皆様の見

等をお伺ひし、計画を立て、国の交付金等を充てて、その実現に努力して参ります。専門的なアドバイザーも2社お願ひしてございます。こういった皆さんの意見も参考にしながら進めたいと思ひます。先ずは、町民の皆様から多くのご意見を頂き、全課をあげて計画に取り組み、実現性の高い計画を定めて参りたいと思ひます。

問 地方創生事業にも空き家対策、空き店舗対策は当然入っている訳です。私からの提案ですが、馬流にある昇月さんを活性化に利用したらと考へるが。

町長 今のような意見が町民の方々からどんどん出て来るような進め方をし、自助、互助、公助の三つが一緒になって計画できるような努力して参ります。昇月さ

んの件も個人財産であります、調査し、一つの意見として、今後の議論の中に加えて参りたいと思ひます。

その他、八峰の湯の宿泊施設建設、中部横断自動車道発着生土利用についての質問をいたしました。



問 JA長野八ヶ岳からの嘆願書への対応と土地の貸借関係は

答 町長 協議を重ねてきたが、もう少し時間をいただきたい



鷹野弥洲年議員

問 昨年4月に、JA長野八ヶ岳より現在の施設の老朽化により、あおぞらホールの再整備が町内にできるように土地の確保に協力いただきたいとの旨の嘆願書をいただいたが、町の対応と経過は。

総務課長 あおぞらホールの移転先に町有地の希望をいただき協議を重ねてきたが、町としては提供できる状況にないとこの事で、民有地の候補を探すことで現在、合意していません。

問 あおぞらホールが整備された当時と違い民間の葬祭場もでき、状況は若干変わってきているが、小海町の中心部におけるJAの支所やあおぞらホールの果たす役割は大きい。町づくりの視点から、施設は町の中心地に整備し、集約していくべきであると考え、施設の分散が進むと不便になり住みにくい町になってしまふ。このために緊密な連携を図り、町が主体的に用地の確保に努め、町づくりを主導すべきだ。

町長 町民は町の中心部からあまり離れないで営業が継続できることを願っているであろうと思ひ、現在地付近での整備を提案しました。今後も連携を密にし、JAには町づくりの一翼を担っていただきたく、引き続き協議を進めて参ります。

問 嘆願書には、役場庁舎敷地をJAが町に提供したのは、JAの借用地を小海町が取得に協力していただくことが前提であったが、当時のままでであると記されている。土地の貸借は相手方のあることであり、協力の下に成り立っているが、問題の先送りは解決を難しくしてしまうので、JAと力を合わせ町が主体性を持って解決にあたってほしい。

町長 JAと協議を重ねてきたが、私有地であり町が主体的にその交渉に当たるのは現時点では難しいです。解決の道が開けるようであれば積極的に関わります。もう少し時間をいただきたい。

松原集落内の交通安全対策について

問 現在、南牧村海尻地区で国道141号線から集落内への取付け道路が整備されている。この道路は海尻地区を通り松原の音楽堂の所へ通じ、松原の集落内を通り松原湖やリエックスへの最短距離になる。開通すると進入車両の増加が予想されるが、松原集落内の交通安全対策は。

町長 安全の確保が第一であり、地元の方々と対策を話し合っていく。



再整備が検討されている JA 小海支所・あおぞらホール

問

1 各地区の避難施設に備蓄品を備える必要はないか 2 高校生の下宿代等に補助を

答

町民課長 1 地区で必要に応じて補助金事業などを活用していただいて結構です
2 基礎的な調査をして検討して参りたい

町民課長 第一避難所と指定している地区公民館の半数は警戒区域に建っている状況があります。災害の状況や時間帯、条件によって変わってきます。その規模により災害対策本部の会議の中で適切に判断を行い、避難対象地域の皆さま

問 昨年、全世帯にハザードマップが配布されたが「住んでいる集落や避難施設が警戒区域となっていて不安だ。」との声があるが、災害時の避難施設が警戒区域の指定場所であるのか。又、住民への説明はどのように考えているか。



的埜 美香子 議員

んがどこに避難すべきかの確にお知らせをする体制をとっていきます。

産業建設課長 土砂災害防止法により、国の方で危険な箇所を調査し、各市町村が町民に知らせるという事で、自分の住んでいる所が安全なのか、災害が予想されるのか、先ず知ってもらおうという事で災害予測図としてお配りしました。実際どうなるかは隣近所や区で話してもらったり、具体的なケースを話していく事が大事になってくると思います。

的埜議員

住民の不安をおおるだけのものにならないよう該当地区への責任を国や県に対して求めていただきたい。

問 ハザードマップに基づいて地域の実情に合わせた地域版マップづくりが必要では。又、各地区の避難施設に備蓄品を備える必要はないか。

町民課長 各地区で積極的に防災訓練や防災関連のマップを含めた学習会や避難所の設置訓練などができれば良いと思っております。その際に備蓄品調達ののために集落再生のお金を使うことは可能と考えています。備蓄品は地区で必要に応じて県の共同募金会の補助金などを活用していただいで結構です。

的埜議員

災害対策は自治体として住民の安全を守る立場にあり責務です。災害に強い街づくりについて今一度

整理を。

問 この春より実施された高校生の通学費補助は、大変助かると喜ばれています。高校が遠く、下宿や寮生活をしている家庭にも一定の補助をしていただきたい。

町長 どの位の経費がかかっているのか、基礎的な調査をさせていただきたい。それを判断材料としてこれから検討して参りたい。



本間公民館に設置された災害用の担架・車イス

問 地方固有の資源を 有利な資源とみなし活用する

答 町長 いわれたところはインターネット等で見させていただきます



井出 薫議員

問 地方創生は去年の6月に安倍首相が突然言い出した話で、アベノミクス効果が地方に及んでいないという批判がかわす必要から生まれたものです。全国には国の政策に左右されず、地方再生の試みを努力して成功している事例がいくつもある。

答 岡山県の西粟倉村の「百年の森林構想」、これまでは山の木を切って市場に持っている、高い安いの1次産業から、村内で2次産業・3次産業を創り、経済と雇用が創出された。森林を守ることが産業にし、村の活性化に地元の資源を生かす話です。

離島の町、島根県の手取町も、魚介の鮮度を保ったまま都市に出荷できるCASシステムを町内に導入、豊富な海の幸を商品化して全国に人気。島には市場がないから漁師が魚を取ったら漁協へ渡して次の日に境港の魚市に出す。この流通機構を変えた。共通点は、仕事がないから過疎になる。だったら仕事を

生み出そうと地域資源から、事という発想です。地方固有の資源を見直し、地域振興を図るための有利な資源とみなし活用する。そして6次産業化で若者の雇用が定着。小海町でも、補助金、補助金といつまでも補助金行政でなく、町がしっかりと事業計画を立てそれに補助金をつけさせる。そういう姿勢に行政が変わらない限り、本当の町の活性化はないと思うが。

町長 町民の皆さんからこんなことをやったら、行政側からこんなことはできないかと6次産業的なことを試みてきた。爆発的なものはございませんが一つ地道に拡大していくことが必要だと思っています。



CAS(Cells Alive System)により凍結出荷される特産品のいわがき(海士町ホームページより)

問 ジリキノミクス？タリキノミクス？ 地方創生・小海町は

答 町長 総務課を中心に全課をあげて取り組んでいきます



篠原 伸男議員

問 2期目の公約の6次産業化・特産品開発への取り組みは。

町長 レシピのできた鞍掛豆の生産、加工を中心に更に行政としてバックアップします。

問 生産だけでは第1次産業で6次産業化にはなりません。鞍掛豆腐だって加工製造者の努力の賜物で、農産物から加工まですすめるのが6次産業化ではないでしょうか。

町長 農産物加工直売所「町の駅」は22年度比五百万円売上が減少している。要は小海町独自

の六次産業化された特産品が無いからではないか。地方創生事業も総務課担当で良いのでしょうか。

町長 総務課を中心に全課あげて取り組んでいきます。

組織改革による

町づくり推進

問 佐久穂町では総合政策課を新設して、町外の若い人に町に戻るには何を望むか等々生の声を聞くアンケートを実施し、将来に向けた、又、時代に対応した町づくりを新し

い課の下で進めています。国の地方創生も誠に不透明です。国の援助だけで町づくりするタリキノミクスの町から、町の特産品開発による六次産業化を推進して、雇用の場を創出するジリキノミクスを目指すべきです。

今の加工直売所では野菜が売上の上位を占め、加工品は売上上位20まで入っています。その加工直売所を三千万円掛けて改修する計画があるが、それは町づくりの源・ジリキノミクスの要となるようにすべきです。それが地方創生ではないでしょうか。

その為には佐久穂町のように時代に即した課を創るべきです。

町長 副町長をトップにいろいろな職員から話を聞く機会を設けて取り組んでいます。



改修され更なる活用が望まれる加工直売所

篠原議員 企業の海外進出が進む中、小海町への企業誘致は難しいです。第1次・第2次・第3次産業を融合した6次産業化や加工所を活用しているグループの皆さんと特産品を生み出せる体制を立ち上げるべきです。

時代の変化を読み、時代に即応した決断と実行が、町政に欠かす事はできません。町長の強いリーダーシップに応える体制・組織の改革に期待します。

問 町の駅改築工事は慎重に検討した上での取り組みを

答 町長 検討委員会での検討もあわせて適切に判断して進めます



新津 孝徳 議員

町の駅改築工事について

問 (仮称)北牧学習館の工事が終了すると、町の駅改築工事が始まると思いますが、慎重に検討した上で取り組んでいただきたいと思えます。町の駅は開店から10年となりまして、この間の経過を見つめ直し、より良い町の駅になるよう担当課の産業建設課は販売員も含め売上経費、品物の数量、そして品質等あらゆる面での管理研究が必要と思われるが、今まで検討会議等は行われてきたか担当課長にお聞きします。

産業建設課長 細かい検討はしてきませんでしたので、今は検討して行きます。

問 町の直営であっても客数や売上等常にデータとして取りまとめ、目標を設定して努力していただきたい。町民を雇用するといった大きな目標がある反面、公の事業といってもマイナスばかりではいけない。費用対効果といった事もありしますので、町長の答弁をお願いします。

町長 行政が行っても民間と

同様、多くのお客さんにお越しいただき、生産者の皆さんにも喜んでたくさんのお売品を納入していただくよう努力して参ります。そして内容を常に精査しながら運営等検討委員会でも総合的に検討して、進めて参ります。

新津議員 販売スペース、トイレの利用方法、駐車場スペース、年間を通しての品物の確保、品質の管理、防犯等いろいろな問題もあるので、全てを含めての検討をお願いします。

大洗町との交流事業

について

問 大洗町はじめ関係する皆様のスピーディーなご指導と当町の対応が相まって友好都市提携の締結に至りました。双方の町関係者の視察、交流は終わり、一般町民の交流に発展していますが、現在の進め方について町長にお聞きします。



町議会による大洗町への視察 (4月)

町長 今年は熟年野球大会の参加と小学生の相互交流を予定しています。小海町からも町民の皆さんが数グループ大洗町に観光に行かれています。慌てる事なく、できるものから着実に進めて末永い交流を図ります。

新津議員 町長の姿勢は当然であります。やはり政策でありますので、大洗町にはない高原別荘地の販売等も含めて戦略的互恵関係を保てるように進めていただきたいと思えます。期待しております。

総務産業

●マイナンバーの施行にあたっては、個人情報保護に十分留意されたい。

○町長

社会保障、税番号制度につきましては、この10月1日から付番通知が始まり、28年1月から運用開始となります。基礎年金に関する個人情報の流出問題もあり、個人情報の保護管理に関心が高まっております。

町としてもマイナンバー制度の開始に向けて制度の周知を徹底すると共に、条例改正を含め個人情報保護に万全を図って参ります。

●税金等の徴収については、親切、丁寧な対応を望む。

○町長

町民税、国保税、水道料、町営住宅家賃等の町の収納金につきましては、口座振替をお願いしていますが、手続き等が困難な事例もあろうと思われまますので、「納めていただく」この事を基本に戸別事情を踏まえてきめ細かな対応を取って参ります。



●ふるさと寄付金については、カタログを有効に活用し積極的なPRに努められたい。

○町長

ふるさと寄付金につきましては、ご寄付をいただく皆様の心に寄り添い、更に充実したものとするため、御礼の返礼品のカタログを作成する事としております。

小海町に関心をお寄せいただける皆様にとっで分かりやすく、わくわくし、納得いただける工夫を凝らしたい。

また、集い等を活用し、お知らせをすると共に、ホームページで内外に発信をして参ります。

●各種事業の実施にあたっては、予算に則り、条例・規則を遵守されたい。また、町内企業育成にも力を注ぐよう努力されたい。

○町長

各種の事業や工事施工は、事業費を予算に計上し、議会の議決を経た上で適正な業者選定を行い、実施する事が基本となっております。法令、条例、規則に基づき、適正な事業実施に努めると共に、急を要する事業につきましましては、議会の委員会また、議会の全員協議会等で事前に協議する場を設けて参ります。

なお、物品の調達や工事の発注につきましては、町内からの調達、発注を今後心掛けて参ります。

●町営住宅の維持管理に
万全を期されたい。

○町長

建設から相当の年数が経ち、経年劣化が目立つ町営住宅も多くなっております。しかし、定期的な巡回等を行い、入居者の皆様が快適に暮らせるようできる限りの維持管理に努めて参ります。
なお、老朽化が激しい住宅につきましては、入居者の皆様とご相談を申し上げ、取り壊しあるいは、建て替えを進めて参ります。

●町公民館の管理については利用者の利便性に配慮し、適切な維持管理に努められたい。

○町長

町公民館につきましても、老朽化が進み、10月に（仮称）北牧学習館のオープンに伴い、その機能を移転いたします。
しかし、最後まで利用者の皆様に気持ち良くご利用頂けるよう大規模な改修は出きませんが、適切な維持、管理に努めて参ります。



●職員の健康管理には十分配慮し、健全な職場づくりに努力されたい。

○町長

身体的、精神的そして社会的に良好な状態でなければ健康とは言えないと思っております。
役場職員は、当然公務員として心身共に健康で職務に専念をし、町民の皆様の期待に応える義務がございます。
しかし、誰もが人に言えない悩みを持っています。
また、悩みやストレスの、感じ方も一人、ひとり違います。
家庭、社会、職場で健康な毎日を送り職務に専念できるよう、自分自身の健康管理は、先ず自分自身で、そして「予防に勝る治療なし」
「早期発見、早期治療」の言葉通りに周りの仲間もお互いに変化に気づき、信頼し合い、助け合い、そして町民の期待に応えて行けるよう、明るい、健全な職場を目指して参ります。

一般質問が町ホームページから聞けるようになりました。

オフトーク放送から防災行政無線に移行した後、放送されませんでした議会一般質問が7月より町ホームページから聞くことができるようになりました。

27年3月定例会から、一般質問を行った議員の下にある音声バーをクリックするとその内容を聞くことができます。

今後、定例議会が終わり次第随時ホームページに掲載して参ります。

小海町議会

検索



去る4月30日をもって議長を退任されました、鷹野弥洲年議員へ、南佐久郡町村議会議長会より感謝状が贈呈されました。

編集後記

6月17日の最終日で第2回定例会が終了しました。新編成となりました各委員会も落ち着いてきました。懸案でありました「予算決算常任委員会検討委員会」も下準備が出来上がり、発足の運びとなりました。議会改革の一部として、有意義な委員会になる事を望みます。

梅雨の最中でうっとうしい日々が続いており、今年の夏は低温傾向という春先の予報もありましたが、稲作、野菜等の出来に影響のない程度であって欲しいところです。

議会運営委員として、もう一度議会全体を見直し、南佐久の中の小海町議会となりますよう、残りの任期を全うしたいと思います。

議事を軽んじず又、おごる事もなく、責任ある議会人でありますよう、小生も努力したいと思います。

(編集委員 新津 孝徳)

編集責任者 鷹野雄之助

編集委員長 土橋 勝一

編集委員 新津 孝徳

編集委員 鷹野弥洲年

編集委員 井出 薫

